

留学先大学：西オーストラリア大学
 留学先での所属学部・研究科：Faculty of Arts(Administrative)
 留学先での在籍身分：Exchange Student
 留学期間：2014年7月～2015年6月
 神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部
 学年（出発時）：3
 本報告書記入日：2014年10月16日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

過去の先輩の報告書を読み、そのときにUWAに留学していた先輩とコンタクトをとったり、パース在住でUWAに通っている友人に尋ねたりしていました。

住居について

- 住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）シェアハウス
- 住居（寮、アパート）の名前：
- 部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____
- ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：ブルネイ） その他（具体的に）_____
- どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- 大学までの通学時間・手段：15分、徒歩
- 住居の周りの環境はどうか。：

徒歩1分のところに大学の図書館の1つがあるので、静かな環境で勉強したかったり、家のWi-Fiの調子が悪いときに学内Wi-Fiを使いこいたり、自分のプリンタを持っていないので書類を印刷したりするのにとても便利です。学期中は平日夜10時まで開いています。

- 毎日の食事はどうしていますか。：

ルームシェアなので完全に自分で作らなければいけません。もちろん友達と食べにいたりすることもあります。基本は自炊しています。料理によっては4人分を1回で作って、残った分は冷凍して後日食べるようにして節約しています。

- 住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

Gumtreeというウェブサイトで探し連絡をとりました。私の場合は特にトラブルはなかったですが、部屋を押さえるための前金が必要な場合が多いため、相手が信用できる人かどうか十分に注意する必要があるそうです。また、オリエンテーションが始まってから知ったのですが、到着してから家を探した際にかかった交通費は手続きをすれば大学から返還してもらえるので、慌てて出国前に探す必要はないかもしれません。

大学の授業について

1. 履修登録について

- 履修登録の時期：出発前 到着後
- 履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）_____
- 登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- 優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- 希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- 希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	HUMA1901	Penny Hawken	3	6	約70人	課題では決められたトピックの内から選んで自分でリサーチした上でエッセイを書き、プレゼンを行います。授業ではそのスキルについて学びます。
2	HUMA1902	Penny Hawken	3	6	約25人	課題では自分でトピックを自由に決め、それについてリサーチし、エッセイ・プレゼンに取り組みます。授業ではトピックの決め方などについて学びます。
3	LING1901	Luisa Miceli	3	6	約100人	文化の差異や性差などがコミュニケーションに与える影響に関する授業です。グループ課題もあります。
4	LING1002	John Henderson	3	6	約150人	音声学や認知言語学に始まり、文字の歴史や幼児の言語習得などさまざまな内容に触れます。毎週末オンラインでの小テストが課されます。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

オーストラリアの大学では一つの授業に講義(Lecture)も少人数授業(Tutorial)も含まれています。毎週どんな内容をするかは細かく発表されておりTutorial(10~15人)ではその週の講義内容について理解を深めます。成績評価は細かく決められており、どの授業も課題が多いです。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00	授業						
10:00	授業						
11:00		授業					
12:00	授業		授業	授業			
13:00	授業		授業	授業			
14:00							
15:00	授業		授業				
16:00			会話クラブ				
17:00			↓				
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

授業が始まってからもうすぐ3ヶ月が経ちますが、良い意味では生活にはもうすっかり慣れ、悪い意味では以前のような1日1日の刺激が無くなってきて物足りなさも感じています。そんな日々の中で楽しい出来事があると、小さなことでも幸せを感じたりしています。

この3ヶ月を振り返って、生活面では、日本でも一人暮らしをしたことがなかったので、海外でルームシェア生活をするのは最初はなかなか苦労しました。ルームシェアと言っても、料理・洗濯などは各個人でするので、失敗は数々経験しました。特に洗濯に関しては、水道代の関係上週1回にしてほしいとお願いされているのでコツをつかむまで数週間かかりました。洗剤が溶け残ったり、新品のタオルの埃がすべての服にこびりついていたり。こんなのも一人で生活してみないとわからないことなので、がっかりしながらも、日々対策を練って、今では問題なくできるようになりました。ルームメイトは本当に良い人たちで、休日には一緒に夕食に行ったり、遊びに行ったり、この家を見つけれられたことは本当にラッキーだったと思います。

授業面に関しては、ついていけるか不安でしたが、なんとか頑張っています。日本では書いたことのないような単語数のエッセイを4週間目に課されたり、毎週Tutorialの予習や週末の小テストがあったりと日本にいたときに比べて課題は非常に多いですが、その分1つ1つを終えたときの達成感は大いにあると思います。授業によってはグループ課題が課され現地学生とともに1つの課題に取り組むこともあり、話し合いではなかなか会話の流れの速さについていけずもどかしい気持ちも感じながらも、自分でできることはすすんでやることで結果的にはメンバーにもほめてもらえてとても良い経験になったと思います。

精神面で一番変化したことは、「英語以外の言語が話せる」ということへの誇りです。それは英語しか話さない人を卑下するのではなく、「英語以外の言語が話せることに自信をもっているのだ」と感じるようになったということです。以前の自分は、日本人は第2言語としての英語能力が他の人よりも劣っているということへの劣等感ばかり感じてネガティブになってしまっていたのですが、日が経つにつれて、特に言語学を学ぶにつれて、日本語が話せることへの誇りをもてるようになり、以前よりも前向きになれた気がしています。

一方で、悩みになっているのが、ネットワークの狭さです。シェアハウスに住んでいる以上、寮と比べて人との交流が少なく、人と知り合う機会が少ないのが現状です。特に現地学生や他の国からの留学生とはなかなか知り合う機会が少なく、オリエンテーションの際にもっと知り合っておけばよかったと後悔しています。その代わりに、毎週日本語会話クラブに参加することで、日本語を学んでいる大勢の現地学生と仲良くなることができ、休日にシティに一緒に遊びに行ったり、カラオケや食事に行ったり、先日の中休み期間では一緒に旅行に行ったりと日本語会話クラブのおかげでネットワークは徐々に広がっていると思います。

また、ここに来て大切だと身をもって感じたのは、現地に滞在している日本人と知り合うことです。日本人のライフスタイルにあったものの情報などはやはり日本人が一番詳しいと思います。例えば日本人美容師を知っていたり、日本食が売っている店を知っていたり、細かなことですが、本当にお世話になっています。特に先日は親知らず抜歯の際（親知らずの抜歯は出国前を強くお勧めします）に緊急で必要になった書類の印刷のために知っている場所を一緒にまわってくださり、「英語力を伸ばすために日本人とは親しくならない」というのもいいですが、日本人と知り合っていくことも大切だと私は大いに感じています。

授業によってはもう再来週に、遅い授業でも来月にはテストが待っています。日本と違いテストは2時間で、もちろんすべて英語なので、集中力が続くのか心配です。が、テスト前には休みの期間が設けられているので、そこでしっかりとテストに向けて準備したいと思います。また、そのあとに待っている灼熱の夏休み、そして2学期を充実したものにしたいと思います。